



ふるさと



2021年 7月248号

グループホームあじさい園

奈良の大仏さまは、華嚴宗のご本尊、この世をあまねく照らす仏様として、743年聖武天皇の発せられたみことにより造像がはじまりました。鑄造のための銅は499トン、メッキに使われた金は440キロ、日本国中から集められ、完成時は金色に輝いていたそうです。さて、その威大なる大仏さまの守護神として、東大寺南大門で東西に向かいあって立っておられる左右の仁王さま(国宝の金剛力士像)は、仏敵を退散させる最強の武器である金剛杵を持ち、今もなお私達を見守って下さっています。1180年南都焼討により南大門は全焼、現存の仁王さまは鎌倉時代1203年10月3日の開眼供養に間に合うように、同年7月24日から69日間で造立、完成いたしました。1体につき3000個の部材からなるヒノキの寄木造り、高さ8・43m、重さは1体6・67トンです。

口を大きくあの形に開けている阿形像(西)は、運慶と快慶を中心とした熟練チーム、同時進行で造られた口をんの形で閉じている吽形像(東)は定覚(運慶の弟)と湛慶(運慶の長男)の若手チーム、総指揮は運慶・・・想像しただけでも当時の熱気が伝わってまいります。阿形像の阿は宇宙の始まりをあらわし、力強い目鼻立ち、隆々とした筋肉、緊張感みなぎる手足の表現が特徴的、その上右手は大きくジャンケン「パー」、頭部のまげから舞い上がる布が強くとくましい中に華やかさを演出しています。吽形像の吽は宇宙の完成をあらわし、眉をつり上げ、目を大きく見開き、腰を左にきゅっとくねらせ、右つま先をちゅんとあげ、おこうさん指とおかあさん指でOKサインをしています。仁王さまの指は樹木の年輪を指紋としたり、足には血管が浮き出るさまも。本来であれば南向きの金剛力士像ですが、向かい合っことにより南壁を設置、雨風から長い年月御身を守られてきました。荘厳なたたずまいにいつ見ても圧倒され、奈良の歴史を肌で感じ、過ぎし日への感謝の気もちがあらわれます。同時に守りたい歴史がここにあるという明日への希望もあらわれます。



7月の行事予定

- 6日(火) お誕生日会
- 7日(水)七夕会
- 13日(火) 運営推進会議(書面)
- 24日(土) 食事会

※塩田医師の定期往診もあります。

あじさい園のホームページもご覧ください。



狙いを定めて射的ゲーム!

職員手作りの鉄砲と的を使い、射的ゲームを開催しました。

当たった数に応じて景品を選んでいただき賑やかで白熱した時間を過ごしました。

おやつにはシフォンケーキを召し上がられ大満足のご様子でした。



昼食会 6月20日

今回は、皆様大好きグリーントネルさんのお弁当をご用意しました。

「いや～待ってたでえ!」と心待ちにしておられ、一品ずつ丁寧に作られた副菜に感激しつつお弁当と幸せを噛み締めておられました。「また頼んでや」と早くもリクエストを承りました!



一足早く七夕飾り

色とりどりの短冊に願いを書いていただき大きな笹の木へ一緒に飾りました。皆様と迎える七夕当日が楽しみです♪

